

住民主体のまちづくり

No.41 2017. 5

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 特殊詐欺被害を防ぐ

地域モデル検証事業（その2）

自身の携帯電話への身に覚えのない有料サイト利用の未払い金メールについて、

全体では「そのままにしておく（無視する）」が69.2%で最多、次いで「誰か（家族や警察等）に相談する」が30.0%となっています。

性別では、「そのままにしておく（無視する）」が男性で7割を超え、女性の7割弱をやや上回ったが、いずれの項目においても特段の男女差はみられません。

年代別では、「そのままにしておく（無視する）」は50代までは9割を超えたが、60代以上では6割台にとどまり、「誰か（家族や警察等）に相談する」の割合が高くなっています。

「必ずもうかります」といったもうけ話については、

「この世の中、そんなうまい話はない」が95.7%で最多、次いで「どちらとも言えない」が3.3%、「もうけ話」には少し興味がある」が1.0%となりました。



性別では、男女とも「この世の中、そんなうまい話はない」が9割を超えました。

年代別では、いずれの年代も

「この世の中、そんなうまい話はない」が9割を超え、50歳未満では100%となっています。

未公開株の勧誘電話およびパンフレット送付への対応について、

全体では「そのままにしておく（無視をする）」が91.1%でした。



性別では、「そのままにしておく（無視をする）」が男女とも9割前後となって、特段の差はみられません。

年代別では、「そのままにしておく（無視をする）」が50代で100%、50歳未満でも9割半ばと高い。一方、60代以上はほぼ9割と、50代以下と比べるとやや低くなっています。

■ 高校生マナーアップさわやか運動

今年も青少年育成鳥取県民会議は、「大人が変われば子どもも変わる運動」を展開しています。多くの大人が手本となり、あいさつ・声かけなどを実施していくことで青少年を感化し、県民運動に発展させていくため県民会議として、地域で非行防止運動や青少年の健全育成活動に取り組んでいる方々に参加を呼び掛け、最寄りのJR駅や各高等学校の校門前で、高校生マナーアップさわやか運動を推進しています。



4月11日（火）午前7時過ぎから雨の中、米子駅長さんをはじめJR職員数名、地域から青少年育成会・主任児童委員・更生保護女性会・元JR職員等多くの方が東山公園駅の入り口に集まり、登校のため下車して来る高校生と挨拶を交わしました。

高校生は、「おはようございます」と挨拶されると恥ずかしそうに会釈をして返す姿勢が何とも言えない微笑ましく見えました。

自分たちのまちは自分たちで(つくる つなく つづける)